

1. 言葉と例文

1 ウォーミングアップ

どこかおかしい?.....

A: 家がだいたい古くなったんで、今度、少し手を入れようと思っ

B: 新しい家を買うんですか。いいですね。

A: いいえ、買うんじゃないです。

2 言葉

かお 顔	<p>～が売れる [多くの人に知られるようになる] あの人はテレビに出るようになって、少しずつ顔が売れてきた。</p> <p>～を立てる [相手の立場や体面を傷つけないようにする] 気が進まないが、上司の顔を立って、企画書に上司の考えを含めた。</p>
あたま 頭	<p>～が下がる [自分にはできない行動に感心して、尊敬する気持ちを持つ] 七十歳を過ぎても学び続けている祖母には頭が下がる。</p> <p>～を抱える [よい解決方法や考えが思い浮かばず、困る・悩む] どうすればいいのかわからず、頭を抱えている。</p>
め 目	<p>～がくらむ [あることやものに心が揺れて、正しい判断ができなくなる] お金に目がくらんで、会社の内部情報をライバル会社に教えてしまった。</p> <p>～が肥える [よいもの・価値のあるものを多く見て、ものを見る力がつく] 消費者の目が肥えてきたので、安いだけでは売れなくなってきた。</p> <p>～が冴える [頭がはっきりして、眠れない] コーヒーを飲みすぎて目が冴えてしまって、なかなか眠れなかった。</p> <p>～が高い [よいものを見分ける能力がある] 最高級の素材を使っている商品を選ぶとは、あなたは本当に目が高い。</p> <p>～が届く [注意や監督が十分にできる] 親の目が届くところで子供を遊ばせている。</p> <p>～にする [実際に見る] 新聞で環境問題を取り上げた記事をよく目にする。</p> <p>～もくれない [まったく興味や関心を示さない] 帰宅した息子はおやつには目もくれず、ゲームを始めた。</p> <p>～を引く [自立って人に注意を向けさせる] 部屋に入った客の目を引いたのは、赤々と燃える暖炉だった。</p>

	<p>～を離す [注意していた目を別のところへ向ける] うちの子はちょっと目を離したら、すぐ遊びに行ってしまう。</p>
くち 口	<p>～が肥える [いろいろ食べているので、食べ物の味がよくわかるようになる] 彼女は小さいときからおいしいものを食べているので、口が肥えている。</p> <p>～が滑る [言っはいけないことをうっかり話してしまう] 話していけないと言われていたのに、つい口が滑ってしまった。</p> <p>～を挟む [人の会話に横から入る] 関係ない人は口を挟まないでほしい。</p> <p>～をつぐむ [何も話さない・黙っている] 妹は学校の話をしたくないらしく、学校の話になると口をつぐんでしまう。</p>
みみ 耳	<p>～につく [聞こえる音がうるさくて、気になる] 試験中、周りの人が鉛筆で書く音が耳について集中できなかった。</p> <p>～に挟む [聞く] 先輩が結婚するらしいという話を耳に挟んだ。</p>
はな 鼻	<p>～にかける [自慢する] 彼女は自分がお金持ちであることを鼻にかけて、ほかの人をばかにしている。</p> <p>～につく [言葉や態度が気になって、嫌になる・嫌味だと思ふ] 自分は何でも知っているという彼の態度が鼻につく。</p> <p>～をつく [強い匂いで鼻に刺激を受ける] ドアを開けると、嫌な匂いが鼻をついた。</p>
て 手	<p>～に余る [能力を超えている] 私の手に余る問題なので、上司に相談しようと思う。</p> <p>～に負えない [自分の力では対応できない] けんかを止めようとしたが、手に負えなくて警察を呼んだ。</p> <p>～に乗る [相手の策略にかかり、相手の思い通りになる] うまいことを言って私にさせようとしているが、その手には乗らない。</p> <p>～を切る [今までの関係を断つ] 昔の悪い友達とはもう手を切って、全然連絡を取っていない。</p> <p>～を差し伸べる [力を貸す・助ける] 困ったときに手を差し伸べてくれた友人のことは一生忘れない。</p> <p>～を尽くす [できる限りのことをする] お医者さんが手を尽くしてくれたおかげで、命は助かった。</p> <p>～を回す [いろいろな手段で働きかける] 会社で起きた問題が新聞に出ないように手を回した。</p>

	<p>～を焼く [扱いに困る] 子供のころは、元気がよすぎて親に手を焼かせた。</p> <p>～を入れる [よい状態にするために修正したり、直したりする] 家が古くなっていたので、手を入れてきれいにした。</p> <p>～を打つ [問題に対する対策をする・対処する] 問題を早く発見できれば、その分だけ早く手を打つことができる。</p> <p>～を引く [関与をやめる] これ以上損害が大きくならないうちに手を引いたほうがいい。</p>
腕	<p>～を磨く [技術を向上させるために努力する] いろいろなレストランで修行をして、腕を磨いた。</p> <p>～を振るう [技術や能力を十分に発揮する] 得意な料理の腕を振るって、パーティーの準備をした。</p>
肩	<p>～を並べる [対等の立場で能力が出せるようになる] 戦後の日本は欧米と肩を並べる経済大国に成長した。</p> <p>～を持つ [味方をする・ひいきする] 両方の話を聞かずに片方の肩を持つのは不公平だと思う。</p> <p>～の荷が下りる [責任や負担から解放されて、楽になる] 会長の立場から退いて、やっと肩の荷が下りた。</p>
首	<p>～を捻る [疑いや反対の気持ちを持つ/理解できなくて、考える] 彼は納得ができないのか、首を捻っている。</p> <p>～を突っ込む [関心を持って、あることに関係する] 自分に関係のないことに首を突っ込まないほうがいい。</p>

II. 基本練習 >>

1 用法 使い方に気を付けよう。

下線の言葉の使い方が正しい文には○、間違っている文には×を入れなさい。

また、間違っている場合には下線の言葉に代わる正しい言葉を書きなさい。

- 例 いつもよいものを見ていると目がくらんでくる。 (×) 目が肥えて
- (1) 裏に手を出して、問題を解決した。 () _____
- (2) 予想外の結果だったので、首を捻っている。 () _____
- (3) 彼の言動が鼻について、いらいらする。 () _____
- (4) どんどん経験を積んで、腕を磨こうと思う。 () _____
- (5) 不正を行う会社とは手を引くべきだ。 () _____
- (6) 路上で生活する子供を実際に耳にして、ショックだった。 () _____
- (7) 部屋に手を入れて、きれいにした。 () _____

2 用法 使い方に気を付けよう。

の中から適当な言葉を選んで、()に入れなさい。

- (1) 顔 首 鼻 目
- ① 外で遊んでいるときに子供が何をしているかまでは()が届かない。
- ② ()が売れてきたので、外に出ると、よく声を掛けられるようになった。
- ③ 人の家庭問題に()を突っ込んで、余計なことをすると言われた。
- ④ あ的那个人は自分が有名な作家であることを()にかけず、とても親しみやすい。
- (2) 手 鼻 肩 腕
- ① 誕生日には母がいつも()を振るってごちそうを作ってくれた。
- ② 大きな仕事が無事に終わり、ようやく()の荷が下りた。
- ③ そんなうまいことを言っても、その()に乗るものか。
- ④ 酔のような酸っぱい匂いが()をついた。
- (3) 目 口 手 肩
- ① 彼女はとても華やかな服を着ていて、()を引いた。
- ② この仕事は私の()に余る。
- ③ 経験を積んで、とうとう先輩の大女優と()を並べるほどに有名になった。
- ④ つい()が滑って、話してはいけないことを話してしまった。

III. 実践練習

1. 次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。(2点×3問)

① つぐむ

- 1 周囲がうるさいので、耳をつぐんでいた。
- 2 赤ちゃんが口をつぐんだまま泣いている。
- 3 目をつぐんで、音楽を聞いている。
- 4 質問されるまで口をつぐんでいた。

② さえる

- 1 耳がさえていて、小さな音でもよく聞こえる。
- 2 こんなにさえた気持ちは、初めてだ。
- 3 夜中なのに目がさえていて、なかなか眠れない。
- 4 料理の手がさえているので、何でも上手に作れる。

③ 尽くす

- 1 毎日、子供の世話を尽くすことは大変だが、楽しいことでもある。
- 2 一生懸命、頭を尽くして考えたが、難しくてわからなかった。
- 3 どんなことがあっても、最後まであきらめずに手を尽くすことが大切だ。
- 4 30キロ走ったので、体力を尽くしてしまった。

2. 〃の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。(1点×5問)

① 手に負えない問題が起きたら、両親に相談する。

- 1 余る
- 2 重い
- 3 かかる
- 4 抱える

② 恋人同士のけんかには、口を挟まないほうがいい。

- 1 入れない
- 2 出さない
- 3 言わない
- 4 立てない

③ 問題が起きたら、すぐに対応してください。

- 1 腕を振るって
- 2 手を打って
- 3 耳に挟んで
- 4 目を回して

④ 世界中で日本料理の店を見かけることが多くなった。

- 1 目に掛ける
- 2 目にする
- 3 目をつける
- 4 目を引く

⑤ 何度説明しても納得してくれないお客がいて、困っている。

- 1 頭を下げて
- 2 手に乗って
- 3 手を引いて
- 4 頭を抱えて

3. ()に入れるのに最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。(1点×14問)

① あちこちに()を回して、アルバイトを集めた。

- 1 手
- 2 首
- 3 頭
- 4 口

② ()に挟んだうわさでは、どうも社長が替わるらしい。

- 1 口
- 2 頭
- 3 耳
- 4 目

③ 助けを求めてきたときには、()を差し伸べてあげたい。

- 1 腕
- 2 頭
- 3 肩
- 4 手

④ さすがにお客様は、お()が高い。いつもよいものをお選びになりますね。

- 1 腕
- 2 口
- 3 鼻
- 4 目

⑤ 会社の()を持つわけではないが、会社側の説明にも納得できる点がある。

- 1 肩
- 2 腕
- 3 顔
- 4 手

⑥ 海外進出から手を()、国内の事業を固めたほうがいい。

- 1 切って
- 2 出して
- 3 引いて
- 4 広げて

⑦ 高い音が隣の部屋からずっと聞こえてくるのが、耳に()いらいらする。

- 1 かかって
- 2 ついて
- 3 届いて
- 4 はさんで

⑧ 夫は私には目も()、本を読んでいる。

- 1 あげず
- 2 くれず
- 3 引かず
- 4 見ず

⑨ 彼の自信たっぷりの態度が鼻に()、好きになれない。

- 1 きいて
- 2 して
- 3 ついて
- 4 のって

⑩ 今度のお客さんは口が()ので、料理の味にとっても気を遣う。

- 1 合っている
- 2 きいている
- 3 肥えている
- 4 上がっている

⑪ 先生の顔を()、先生が紹介してくれた会社に面接に行った。

- 1 売って
- 2 立てて
- 3 見て
- 4 使って

⑫ どんなに大変な状態でもいつも笑顔で人に接していて、本当に頭が()。

- 1 抱える
- 2 上がる
- 3 冷やす
- 4 下がる

⑬ いつもクレームを言うお客さんに手を()いる。

- 1 上げて
- 2 入れて
- 3 差し伸べて
- 4 焼いて

⑭ 欲に目が()と、正しい判断ができなくなる。

- 1 さえる
- 2 つく
- 3 届く
- 4 くらむ